



## 夢は私のエンジン



国	籍	中国
職	種	介護
実習実施者		株式会社レイクス21
監理団体		PNJ事業協同組合

陳 青 青  
CHEN QINGQING

日本に行くのが私の夢でした。ずっと昔から日本が好きで今でも日本は心暖かい国だと思います。また、専門学校で日本語を勉強すればするほど、さらに好きになりました。「夢」以上のエンジンは、この世にはありません。私はこの夢を実現するために、三年間かかりました。

私の家は裕福ではないので、「お金を出して」のような話は絶対言えません。それで自分の力で日本に行く決めました。専門学校を卒業してから、まずは就職しました。生活のお金は稼げますが、貯金は無理でした。それより大きな問題は、日本語が全く上達しなかったことです。そこで全ては日本に行くためその仕事をやめて、友達に頼んで日本料理店の仕事を紹介してもらいました。そこは、日本人のお客が多いので、日本語の練習になると思いました。しかし、初日にショックを受けました。日本が好きで私が「いらっしやいませ」「ありがとうございます」くらいの日本語も出ませんでした。正直、とても悔しかったことを思い出します。

しかし、私は根っから頑固な人間です。この悔しさを糧にして、仕事以外の時間を全て日本語に充て、猛勉強をはじめました。三年間友達

と遊ばず、ショッピングに行きませんでした。また大好きな映画も観ないようにしました。毎日頭には「貯金、勉強、貯金、勉強」のことがかりでした。

頭では簡単ですが、実際にやると、想像以上に孤独でつらいことでした。一番つらいのは、自宅のトイレで足をくじいた時でした。ひとり暮らしだったので、助けを呼んでも、だれも来てくれませんでした。痛すぎて、床に座ったまま、壁に寄りかかって泣きました。鳴き声は部屋中に響きました。しかし、だれにも聞こえません。でも日本へ行く夢を思い出したら、不思議に力が湧いてきました。私は涙を拭いて、自分で頑張っ立ち上がりました。人生には、うまくいかないときがよくあります。人はそのときこそ乗り越えて行けば成長します。次の日、私は足が痛いけどいつもより早起きして、職場に行きました。私は強くなりました。

2019年にやっと日本に行ける貯金ができました。日本語も料理店のお客様とよく話して、前よりはよくなりました。私は送り出し機関を通じて、やっと日本に来ました。今は二年目です。通知書が届いたときの瞬間はまだ覚えています。私はうれしくて、うれしくて、涙を流してしまいました。やっと「夢」叶えました。

今は老人ホームで介護をしています。同僚たちが優しく、ご利用者様もとても親切です。毎日、元気よく挨拶します。何かあったら、家族のように心配してくれます。昨日、仕事が終わって、いつものように、自転車で帰りました。川辺の満開だった桜もすでに散り始めています。桜吹雪の中走って、「これが、私がほしかった人生だ」と呟きました。